

やまぼうし

〒669-4321
兵庫県丹波市市島町上垣138-1
(☎)0795-85-2330
(fax)0795-85-2335

社会福祉法人 市島福祉会
認定こども園 いちじまこども園
http://www.ichijima-kodomoen.com



いちじま
きょうからいっばい
ぶんらしく
つぎに

認定こども園いちじまこども園 平成27年度 在籍人数

地域別在籍人数

クラス 月	きのご組 0歳児	はっぱ組 1歳児	こえだ組 2歳児	どんぐり組 3歳児	くるみ組 4歳児	まつぶくり組 5歳児	計
10月	8	28	26	34	43	28	167

鴨庄	美和	吉見	地域外
35	59	56	17

こども園の は・て・な・・・? 「Q、こども園に看護師さんはいますか？」

A、「こども園に看護師は、います!!」

【看護師のお仕事は?】

- こども園でケガをした時や、熱が出た時など看護師が対応します。
- 月に一度の身体計測・爪のチェックをします。
- 4・5歳児のフッ化物洗口をします。
- 保健日より（おひさま日より）を作っています。
(感染症の流行や対応、身体に大切なことなどを発信しています)

熱を測ってみようね

少ししんどいなあ...



園で体調が悪くなった時やケガをした時には、看護師の所に行くと優しく対応してくれるので、子ども達は安心して園生活を送ることができています。また園の職員も、子ども達の身体の変化に気がついた時に相談ができるので安心です。



子どもが幸せになれる地域とは

市島福祉会理事 荻野忠志



9月7日付神戸新聞に“大阪、中1男女遺棄事件どう守る?深夜で歩く子どもたち”の見出しで掲載された記事が重く頭に残っている。

兵庫県立大准教授（生徒指導論）竹内和雄さんとNPO法人「全国こども福祉センター（名古屋市）理事長の荒木和樹さんが話されたことを引用させていただき、紹介したい。

【子どもがスマートフォンを手に深夜を出歩く姿は珍しくない。安全を守るためには何が大切なのか。悪いのは事件の「犯人」であることを強調したうえで、中学1年生の子どもがなぜ夜中に外をぶらぶらしていたのか社会は真剣に考えるべきだろう。居場所のない子はつながりを求め携帯電話にはまってしまいがちだ。今、スマートフォンという便利なツールが、定着している。子どもが夜間出歩いても「居場所はすぐ分かる」と違和感を持たない親が増えている。だがスマートフォンでは犯罪被害を防げない。連れ去られていないことを確認するにすぎず、気休めでしかない。家庭や学校が心を満たす居場所であってほしい。愛されたい、認められたいという気持ちをうまく表現できず、反発してしまう。親や教師は抱きしめ愛を示してほしい。地域が見て見ぬふりをしないことも大切。大人は自分の地域の子どもを愛し、叱ってやれる社会をつくりたい。試されているのは、私たち大人の側なのだ。（竹内和雄さん）】

【歩き続けた二人には、いざという時に頼れる場所がなかったのではないかと。最近結婚しない人が多く、周囲に子どもがいないため、どう接してよいか分からない大人が増えた。子ども達はスマートフォンでつながる世界をすごく大事にし、支えとしている。相手の返信を1分も待てない子もいる。インターネットの危険性や、生身の人間とのコミュニケーションを取る大切さを説いても、子どもは聞いてくれない。「対面」が心のよりどころではなく、学校や地域社会も意味をなさなくなっているのかもしれない。親が非正規雇用など不規則な仕事に追われ子どもに目を向けられなくなっている。忙しそうな姿を見て、躊躇する場合もある。まずは大人が「心配している」という思いを伝える。子どもはネットだけでなく現実世界でのつながりも求めている。（荒木和樹さん）】

孫同様に、登下校、通学している子どもにも、もう一声気にかけてやる様にしなければと記事を読みながら感じた。



倉橋惣三（1882～1955）

「日本のフレールベル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。

【解説】

涙を流すほどの思いで、相手に何かを伝えることって、最近あったでしょうか？子どもは、目の前に大切なことがあるからこそ、自分の思いを真剣に伝えるのでしよう。そんな子どもも時代を大切にしたいものです。

心の隅まで隠すところのない目。

自分をさらけ出して、

いつもあからさまに

真直ぐに相手を見る目。

いつも真正面から、

「子どもの目」

倉橋惣三の言葉